

## 21世紀枠

21世紀枠とは各都道府県の秋季大会でベスト8以上(北海道、埼玉、千葉、神奈川、東京、愛知、大阪、兵庫、福岡はベスト16以上)で地域性、話題性などで各都道府県の高野連で選ばれ最終選考にて2校が選抜大会に出場できる枠です。(選出が難しい場合は過去30年以上甲子園出場のない高校を選出する)。北海道を除く各都府県で1校を選出し、北海道を含めた9地区から1校推薦校を決定し最終的に2校が甲子園に出場できる枠です。(今回の80回大会は記念大会であり3校が甲子園に出場できます。)

愛知県高等学校野球連盟第80回選抜高校野球大会21世紀枠推薦校

## 愛知県立成章高等学校

校長 壁谷宜男

各学年8クラス(普通科5クラス・商業科2クラス・生活文化科1クラス)

所在地：愛知県渥美郡田原町大字田原字池ノ原一

「成章」の由来

文化七年(1810)藩主三宅康和侯が田原に藩校成章館を設立、

「成章」の名は論語、第三巻第五公冶長編の「斐然成章」の句に基く。

選考理由

創部100年を誇る伝統校であり、平成16年から3年連続で秋季県大会の8強入りに続き、今秋はベスト4入りを果たした。78回大会、79回大会と2年連続して選抜高校野球大会「21世紀枠」の補欠校に選出されたほか、今春の第54回春季高校野球大会において3位に入賞するなど、公立校でありながら三河地区のみならず、県下の強豪校の一角にあげられている。

活動面の制約は多く、特に学校が東西に長く南北に狭い渥美半島の中ほどに位置するという地理的状况から、部員はすべて地元中学出身者に限られている。また、県大会の準々決勝からのメイン球場である熱田球場までは、自宅から3時間30分余りをかけて球場入りをしている等の困難と闘いながら戦いに挑んでいる。

県内の高校野球指導者を多数輩出していることも高く評価される。